美豆小
学びの道しるべ

平成３０年８月２８日
京都市立美豆小学校
校長　　　高嶋　登
１号

4～6年生　確認テストを実施します

夏休み明けの３１日（金）から，５・６年生は「ジョイントプログラム確認テスト」を実施します。４年生は「プレジョイントプログラム確認テスト」を実施します。この「プレ」というのは高学年の前段階という意味であり，「ジョイント」という言葉はつなぐという意味です。

今回の「確認テスト」で，学習の定着度を確かめますが，テストに向けて家庭学習の計画を立てることも大切です。「学校の授業」→「家庭学習」→「確認テスト」というサイクルを繰り返すことが「ジョイントプログラム」と位置付けられ，京都市ではこの習慣化を目指しています。

４月に配布した「出題予定表」をもとに家庭学習に取り組んでいただいているかと思いますが，今回のテストは１１月中旬に返却される予定です。２学期の学習と冬休み明けに行われる２回目の確認テストに向けて，ご家庭でも家庭学習の習慣づけと意欲の向上につながるお声掛けをしていただきますようお願い致します。

「答えと考え方」は，結果の返却と同時に返却をします。できなかった問題を教科書でふり返るなどして復習し，定着につなげていきましょう。

本校では，４・５・６年生が８月３１日（金）～９月５日（水）の期間で実施します。詳しくは学級のお便りをご覧ください。

１月の確認テストは，３年生から６年までの学年が実施します。３年生の出題予定表は１１月頃に配布予定です。

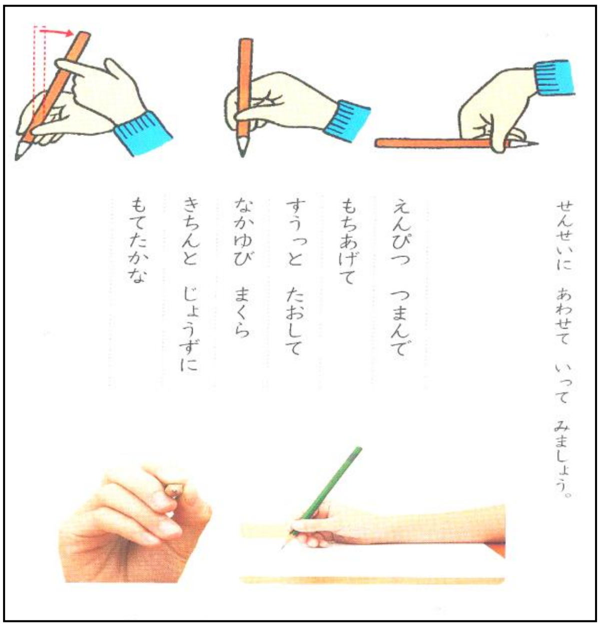
美豆小
学びの道しるべ

平成３０年９月２１日
京都市立美豆小学校
校長　　　高嶋　登
２号

正しくえんぴつを持っていますか？

２学期がスタートしました。子ども達は，夏休みモードから学習モードへと徐々に切り替え，新たな気持ちで，しっかりと学習に向かおうとする意欲が伝わってきます。

そんな今だからこそ，正しい姿勢で座っていたり，えんぴつを正しく持っていたりするかなどを改めて見直すことで，学習をより確かなものにすることができます。



左の画像は１年生の国語科の教科書に載っているものです。１年生は国語の学習の最初にえんぴつの正しい持ち方の学習をします。一度お子たちのえんぴつの持ち方をじっくりとご覧いただき，助言いただきますようお願いいたします。

また，大淀中学校ブロックでは「立腰（りつよう）」に取組んでいます。立腰とは「腰骨を立てて座る」姿勢のことを言い，集中力を持続させることもできると言われています。ご家庭でも意識して取組んでいただき，よい姿勢が保てるようにしていきましょう。

家庭学習用　プリントコーナー

職員室前に，右の写真のような棚が並んでいるのをご存知でしょうか。この棚には各学年の学習プリントが入っています。５時間目の前の帯時間「キラッとタイム」でこの学習プリントに取組んでいますが，家庭学習用に持ち帰ることもできるようにしました。

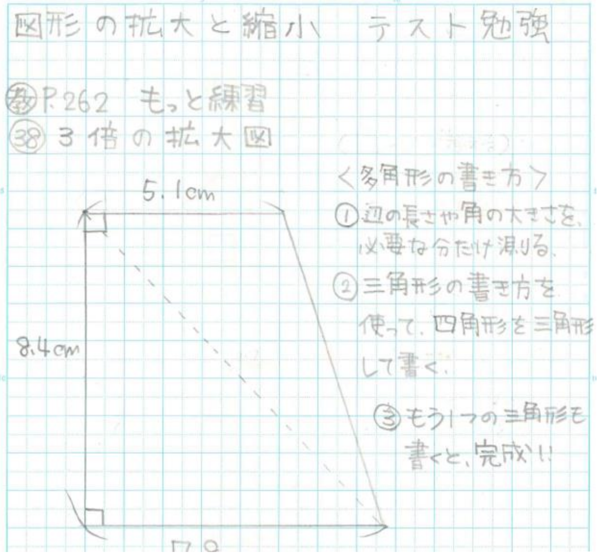
家庭学習の計画を立てる際に，やってみたいプリントや，復習をしたいプリントがあれば一人１枚持ち帰ることができます。算数の計算問題や漢字のプリントも用意していますので，家庭学習に困っているようであれば，プリントを持ち帰って活用するようお声掛けください。

美豆小 **学びの道しるべ**

平成３０年１０月５日
京都市立美豆小学校
校長　　　高嶋　登
３号

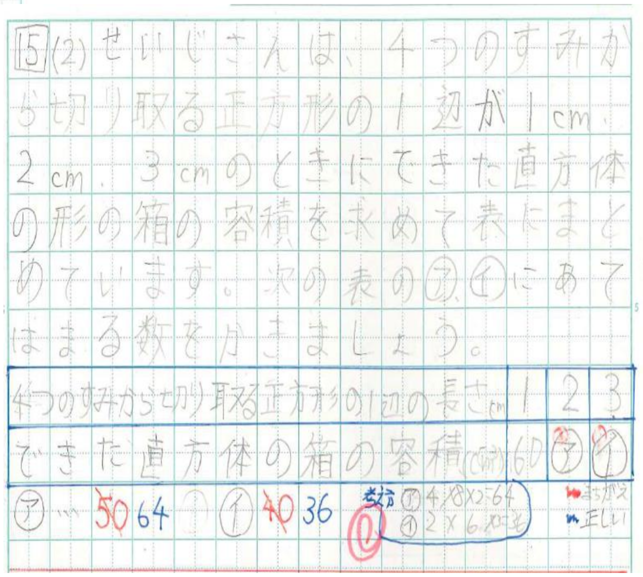
自主学習ノートの紹介

２学期が始まり１ヶ月が過ぎました。子ども達は運動会モードで，毎日全力で学習や運動会に向けての取組に向かっています。そんな中でも，日々の宿題に加えて自主学習を丁寧にすることができています。今回は各学年の子ども達が，どのような自主学習に取り組んでいるのかをご紹介します。



＜6年生の児童より＞
算数科の「拡大と縮小」の学習を通して，図の描き方をまとめたり，図に描き表したりしています。
自分の言葉でまとめることで，より理解が深まり，学習効果を高めることにつながります。

＜5年生の児童より＞
８月に実施したジョイントプログラムの中から，間違えた問題を復習しています。
どのように考えればよかったのかまで書くことができ，次につながる学習をすることができています。



３年生以上の家庭学習を「見てみて！！学びの掲示板」と称して本校職員室前に掲示しています。

学年×１５分の習慣を！！

「学年×１５分」とは，京都市全体で取組んでいる家庭学習に取り組む時間の目安を表したものです。１年生は１５分，２年生は３０分，６年生になると９０分という計算になります。
そもそも家庭学習とは，宿題だけではありません。宿題に取り組んだり，自主学習に取り組んだりすることを家庭学習と言っています。

4年生 家庭学習ガイド
京都市立美豆小学校

進んで学び　学びを活かし　行動できる子

国語や算数で，このような力をつけていきます！

国語
- 自分の考えが分かるように，相手や目的に応じた言葉遣いで話すこと。
- 一番伝えたいことを明確にし，段落と段落の続き方を考えて書くこと。
- 場面の様子や情景を文章をもとに想像しながら読むこと。
- いろいろな本に興味をもち，進んで読むこと。
- 4年生までに学習する漢字を正しくていねいに書くこと。

算数
- わり算の筆算を理解し，順序を考えて計算ができること。
- 大きな数や小数についての理解を深め，活用すること。
- 角の大きさを測定すること。
- 垂直，平行について理解すること。
- 2つの数量の変化を表や折れ線グラフなどで表すこと。

裏面には，夏休みまでにつけたい家庭学習の力が書かれています！

みんなが「わかる！できる！」ための取組！

新出漢字を早く学習し反復練習や漢字テストを通して漢字の習得に努めます。

学習の中で子どもたちがわからないままにしない雰囲気を大切にします。

スモールステップで教科書の課題に取り組み，考えることで，できる，わかる喜びや楽しさを感じられるようにします。

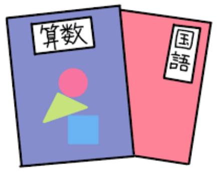
宿題や授業で，自分で調べても分からない問題があれば，休み時間や放課後にどんどん質問してください。

詳細につきましては，１学期に配布した「**家庭学習ガイド**」をご覧ください。
本校ホームページにも掲載しています！

各学年でつけたい力や，宿題の内容について紹介したものです。

古い教科書

２学期の初めに配布した国語や算数科の新しい教科書をそろそろ使い始めます。古くなった国語や算数の上の教科書はどのようにされていますでしょうか。
おすすめの使い方として，家庭学習に用いるという方法があります。教科書の問題をもう一度書き写して解いたり，教科書に直接書き込んだりする学習をすることで，復習につながりますね。１学期の計算ドリルも同様に家庭学習に使うことができます。
お子達の教科書やドリルを一度手に取っていただき，具体的なアドバイスをしていただけると意欲につながります。どうぞお声掛け下さい。



美豆小

学びの道しるべ

平成３０年１０月２９日
京都市立美豆小学校
校長　　　高嶋　登

４号

ステップアップシートを返却しました。

　夏休み明けに４年生以上の児童が受験した「ジョイントプログラム確認テスト」の結果を本日返却しました。１学期の学習の頑張りや，もう少し頑張りが必要なところなどが分かりやすく示されたステップアップシートで結果をお知らせしています。

　お子たちが受けた確認テストの結果をご覧いただき，「今できていること」「もう少し頑張りが必要なこと」などを話し合っていただき，これからの家庭学習に活かしていただけるよう，お声掛けいただきますようお願いします。

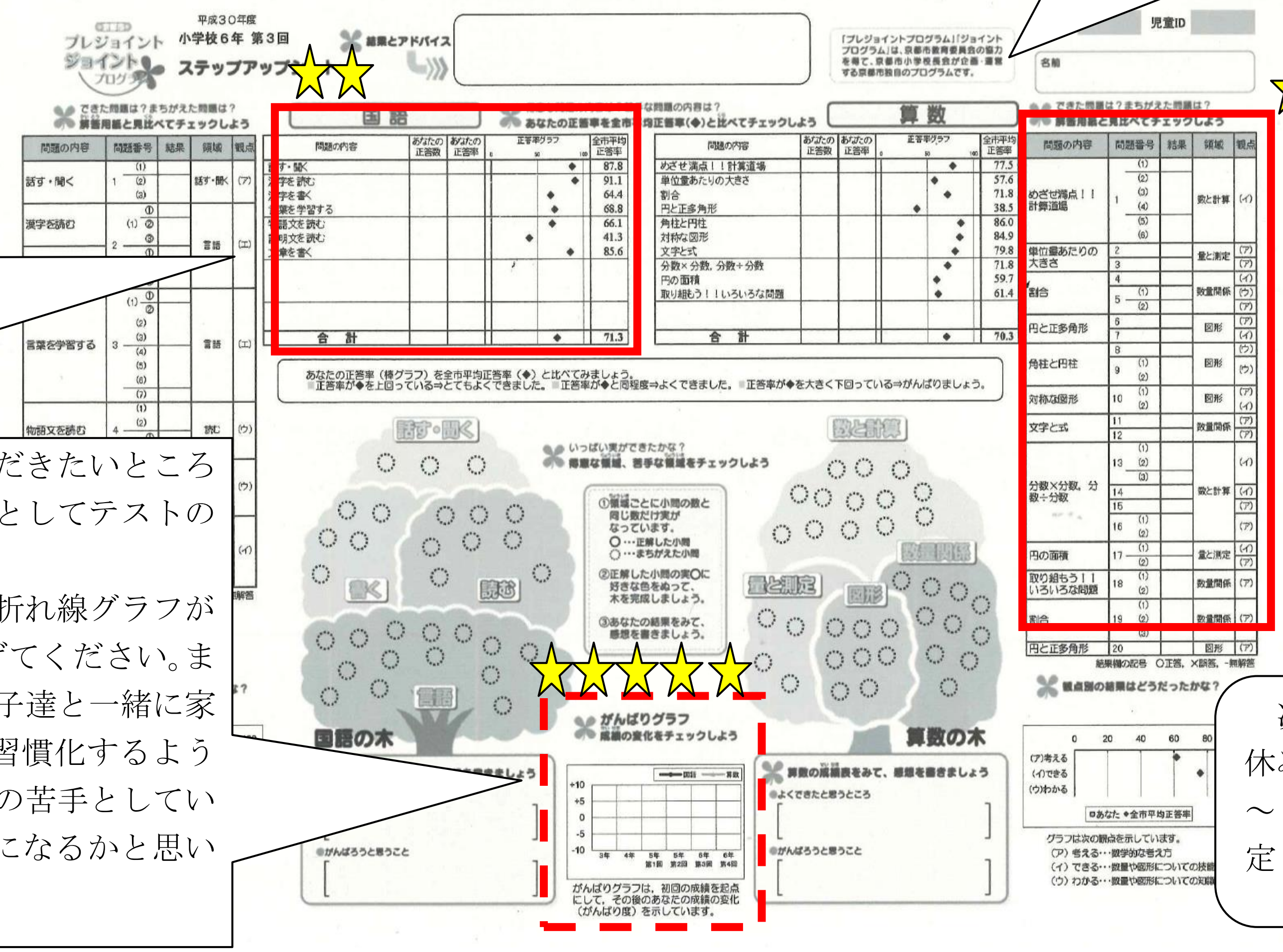
　下の図で，保護者の方に注目していただきたい部分を☆で示しています。☆の数が多い部分から順にご覧ください。

　問題の種類ごとに正解できたか否かが，〇×の記号で示されています。×がついている箇所の内容にご注目いただき，家庭学習で取組んでいただくというのもよいのではないでしょうか。

　例えば，今回の確認テストの返却と同時に持ち帰る「正解と考え方」という冊子を照らし合わせながら，間違えた問題をもう一度解くことも大変意味のある学習になります。

　さらに，前までの学年の教科書や１学期に使っていた教科書を見ながら，どのような学習だったのかを再確認するというのも力のつく学習となります。

　どの教科も今までの積み上げが大切となってきますので，「できていること」「少し頑張りが必要なこと」を確認していただき，さかのぼって学習することで次の学習へとつなげていくことができるのではないでしょうか。



　国語科の問題の内容に対して，正答数と正答率が示されています。また，枠内の左端には京都市の該当学年の平均正答率が示されています。

　お子達の合計点数や京都市の平均と比べることに目が行きがちですが，内容にもご注目いただき，漢字の読み書きや，文章の読解，文章を書くなど，どの内容に頑張りが必要かもご覧ください。

　「がんばりグラフ」は保護者の方に一番見ていただきたいところです。３年生で受験した確認テストの結果を基準値としてテストの結果を折れ線グラフにて表しています。

　今回の確認テストの結果を見るよりも，お子達の折れ線グラフが右に上がっていればお子達をしっかりと褒めてあげてください。また，前回よりも折れ線グラフが下がっていたら，お子達と一緒に家庭学習のルールを決めていただくなど家庭学習が習慣化するようなお声掛けをしてください。特に，国語科や算数科の苦手としているところを一緒にご覧いただけるとお子達の励みになるかと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

　次回に確認テストは冬休み明けの１月８日（火）～１月１６日（水）を予定しています。

美豆小
学びの道しるべ

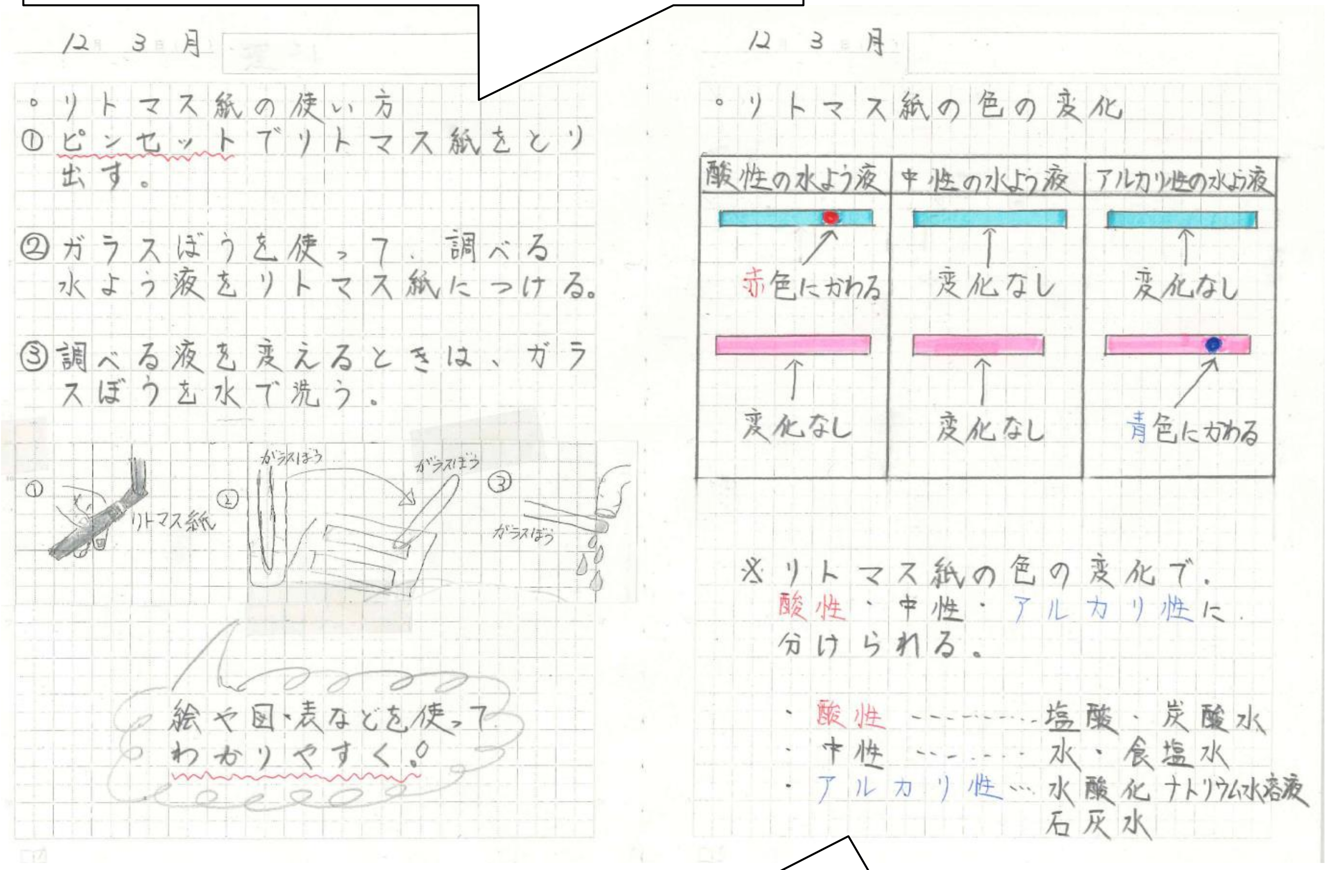
平成３０年１２月３日
京都市立美豆小学校
校長　　　高嶋　登
５号

こんな自主学習はどうですか？

朝夕が寒くなってきました。楽しい音楽会も終わり２学期も終わりが近づき，冬休みが間近に迫ってきました。子ども達も２学期の学習をまとめるべく，一生懸命に学習に向かっています。

冬休みを前にして，美豆小学校の先生たちが考えた自主学習を紹介します。美豆小学校の児童のみなさんが「やってみたいな！」と思えるように工夫を凝らした自主学習ノートのモデルです。これからの自主学習の参考にしてみてください。

ポイント①（教科書，授業中の実験についてまとめました）。
絵や色などを使って，自分に分かりやすいように書く。



ポイント②
　学習したことを教科書の言葉（内容）や自分の言葉でまとめたり，整理したりする。

美豆小
学びの道しるべ

平成３０年１２月７日
京都市立美豆小学校
校長　　　高嶋　登
6号

国語科の自主学習ノート

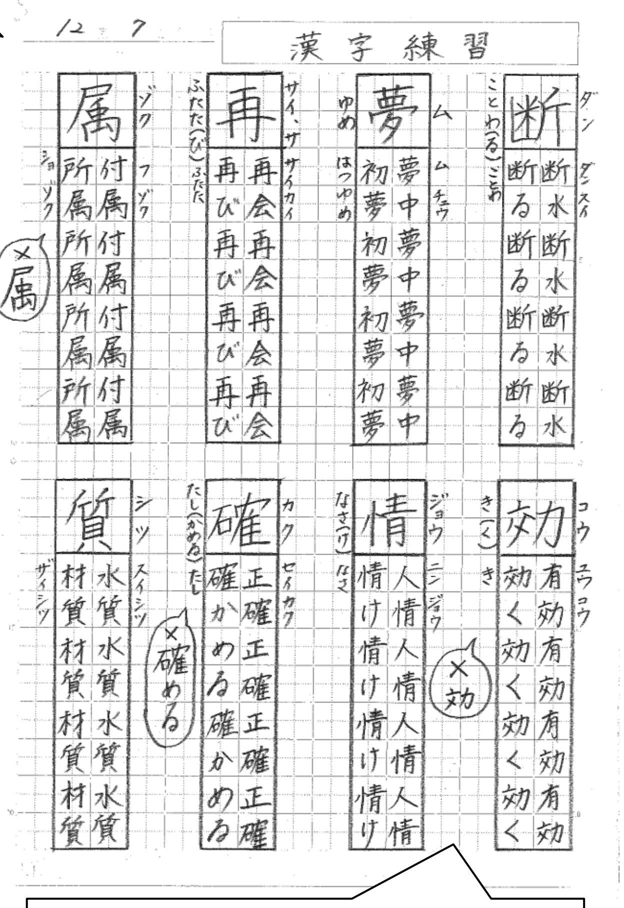
１２月３日（月）に配布しました「学びの道しるべ」５号では理科の自主学習ノートを取り上げ，どのようなレイアウトにすればよいのか，教科書のまとめ方などを紹介しました。

冬休みを前に今回は国語科の自主学習ノートを紹介します。国語科では有名な詩や短歌，言葉を書き写すことや，学習した漢字を使って文章作りをするなど，たくさんの自主学習をすることができます。

また，段落や組み立て（はじめ・中・終わり）を意識した文章作りをすることも国語科の力をつけることにつながります。

この第６号では，学習した漢字を音読みと訓読みを使って書き表したり，学習した漢字同士で熟語づくりをしたりした例を紹介します。

間違えやすいポイントを自分の言葉でまとめるとよりＧＯＯＤ！！



漢字は音読み・訓読みどちらも練習するとＧＯＯＤ！！

美豆小

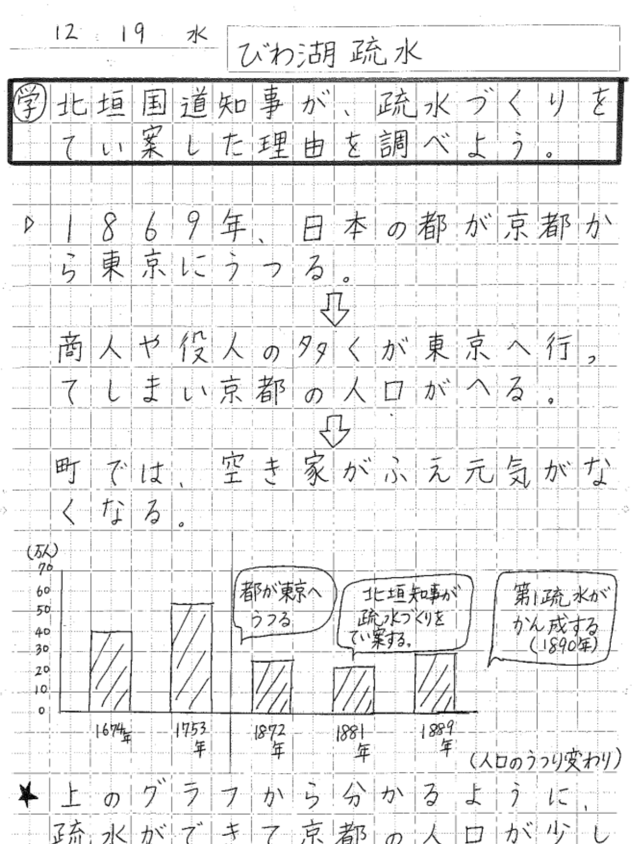
学びの道しるべ

平成３０年１２月１９日
京都市立美豆小学校
校長　　　高嶋　登
７号

社会科の自主学習ノート

今までに理科・国語科の自主学習のノートのモデルを続けて紹介してきました。今回は社会科での自主学習ノートを紹介します。

社会科の自主学習ノートでは，出来事を年表でまとめたり，絵や図で関係づけたりすることで学習内容を整理することができます。冬休みまであと３日です。冬休みまでの学校生活で自主学習に取り組んではみませんか？

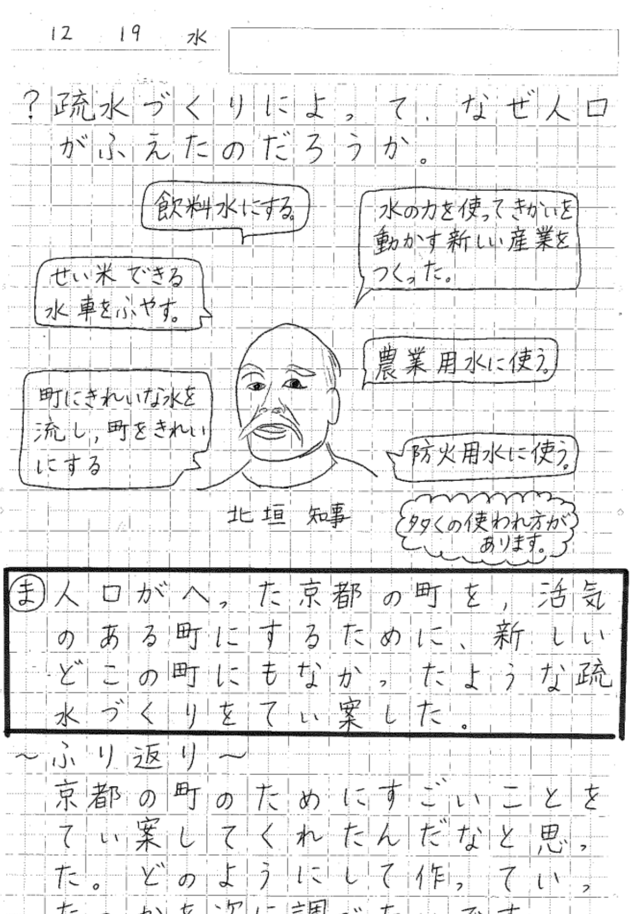

12 19 水　びわ湖疏水

学 北垣国道知事が、疏水づくりをてい案した理由を調べよう。

▷1869年、日本の都が京都から東京にうつる。
⇩
商人や役人の多くが東京へ行ってしまい京都の人口がへる。
⇩
町では、空き家がふえ元気がなくなる。

★上のグラフから分かるように、疏水ができて京都の人口が少しずつふえてきた。

図やグラフを書き写して，自分の考えのもとにする。


12 19 水

？疏水づくりによって、なぜ人口がふえたのだろうか。

ま 人口がへった京都の町を，活気のある町にするために、新しいどこの町にもなかったような疏水づくりをてい案した。

～ふり返り～
京都の町のためにすごいことをてい案してくれたんだなと思った。どのようにして作っていったのかを次に調べたいです。

次の自主学習で調べてみたいことなどを，ふり返りに書いて次につなげよう。

美豆小

学びの道しるべ

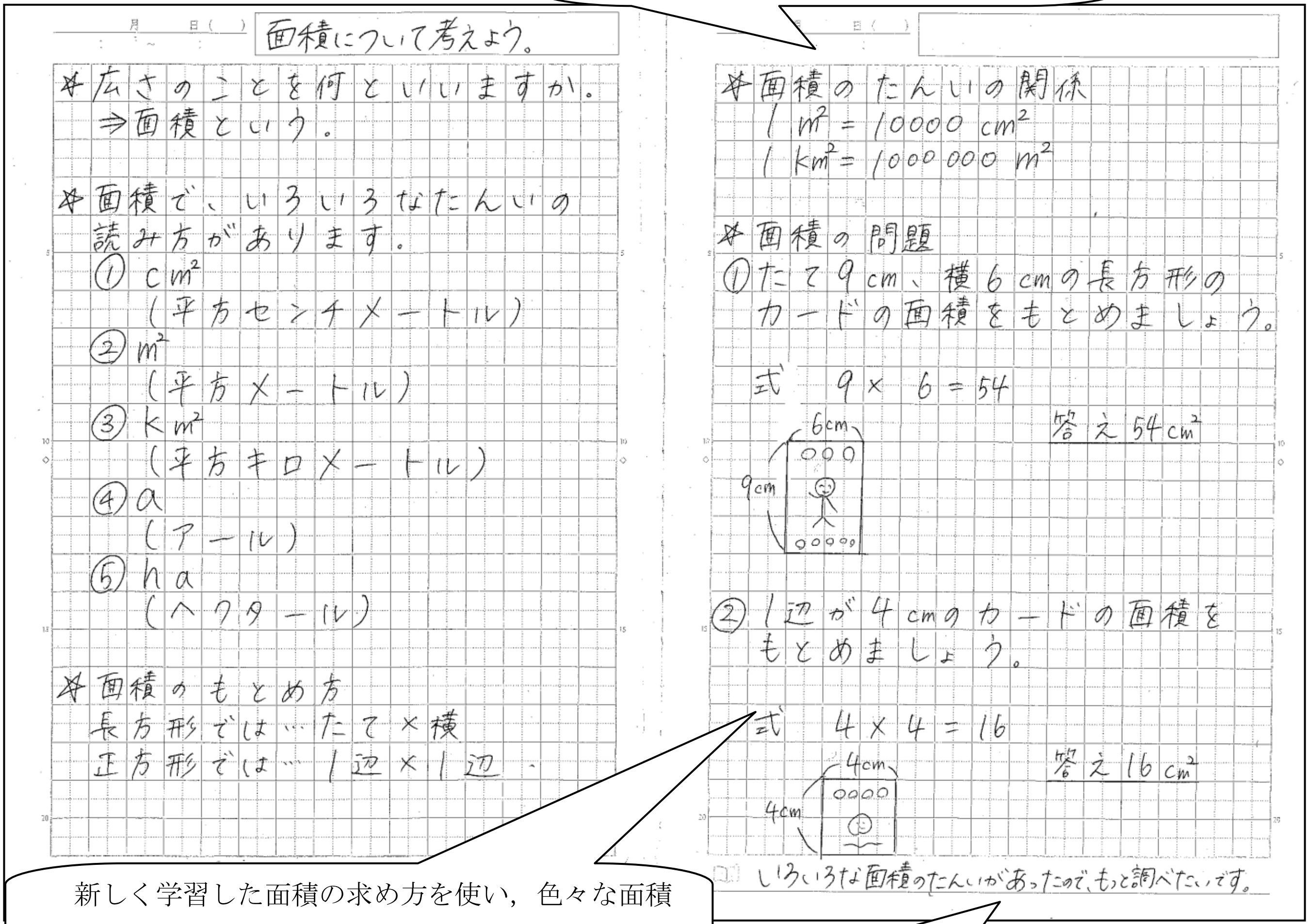
平成３１年1月１８日
京都市立美豆小学校
校長　　　高嶋　登
8号

算数科の自主学習ノート

新しい年を迎えました。子ども達が元気に笑顔で登校し，学校に賑わいが戻ってきました。３学期の学習もスタートし，子ども達は徐々に生活リズムを取り戻し始めています。今週は生活チェック週間を実施しています。ご家庭でも励ましの声掛けをお願いします。

１月は算数科の自主学習ノートをご紹介します。算数科では「自分の言葉や絵や図を使って表現する」ことを大切にしています。その理由は，自分の言葉にまとめ直すことで，学びを再構築することができるからです。学年のまとめとして，算数科の自主学習に取組んでみてはいかがでしょうか。

算数で学習した言葉を整理することで，それぞれのちがいや関係を理解できます。



新しく学習した面積の求め方を使い，色々な面積を求めています。

次への展望を明確にすることで，翌日の算数の学習意欲が高まり，目的意識をもって学習に向かうことができます。

美豆小
学びの道しるべ

平成３１年２月６日
京都市立美豆小学校
校長　　　高嶋　登
９号

ノート検定を実施します

今年度も残すところ２ヶ月です。それぞれの学年や学級では，その学年のまとめの時期に入りました。子ども達と「できるようになったこと」を確認しつつ，新しく見えてきた目標の達成に向けて，それぞれの学年や学級がさらに高まりを見せています。

美豆小学校では，「家に帰って読み返すノートづくり」を目指しています。国語や算数，理科や社会のノートを持ち帰ったお子達は家で宿題や自主学習をする際にノートを見直しているでしょうか。考えのヒントとなるノート作りができているのか，検定項目を学年で統一して教職員がノートを点検しています。

＜検定項目＞
①日付が書かれている
②「めあて」と「まとめ」が書かれている
③自分の考えが書かれている
④よいと思った友だちの考えが書かれている。
⑤ふり返りが書かれている。

ノート検定を行うことで，子ども達は定規を使ってノートを書いたり，マスや行を意識したりしてノートを書くようになり，よりよいノートづくりへの意欲につながっています。また，ノート検定で設けた基準を全ての児童が達成することを目標に教職員も授業の板書作りや子ども達のノート点検を丁寧に行っています。

ノート検定は２月中旬に実施予定です。お子達に励ましのお声掛けをお願い致します。

めざせ１００冊マラソン

京都市立小学校の児童は全員が「読書ノート」を持っています。このノートには自分が読んだ本のタイトルや感想を記録し，読書の足跡を残していくというものです。１年生から４年生までは，年間１００冊の本を読むことを目標に，学校での時間や家庭での時間で本を手に取り，物語の世界を楽しんでいます。高学年以上になると一冊の文字数やページ数が多くなるので，４年生までの児童とは少し異なって，合計で１万ページ以上を読むと目標を設定しています。

読書をすることは大切であると言いますが，なぜ大切なのでしょうか。それは，言葉の獲得や読解力の獲得に通じるものがあるからだと言われています。短いお話から長いお話まで様々な本がありますが，まずは「読んでみたい！」と思う物を手に取って，少しずつ読み始めることから始めることで，読むことを楽しむようになってきます。中学年以下の１００冊以上や高学年の１万ページ以上の目標に向けて，まずは図書室に行って本を借りることからスタートしましょう！

美豆小 学びの道しるべ

平成３１年２月２５日
京都市立美豆小学校
校長　　　高嶋　登
第１０号

ステップアップシートを返却しました

冬休み明けに３年生以上の児童が受験した「ジョイントプログラム確認テスト」の結果を本日返却しました。２学期の学習の頑張りや，もう少し頑張りが必要なところなどが分かりやすく示されたステップアップシートで結果をお知らせしています。

お子たちが受けた確認テストの結果をご覧いただき，「今できていること」「もう少し頑張りが必要なこと」などを話し合っていただき，これからの家庭学習に活かしていただけるよう，お声掛けいただきますようお願いします。

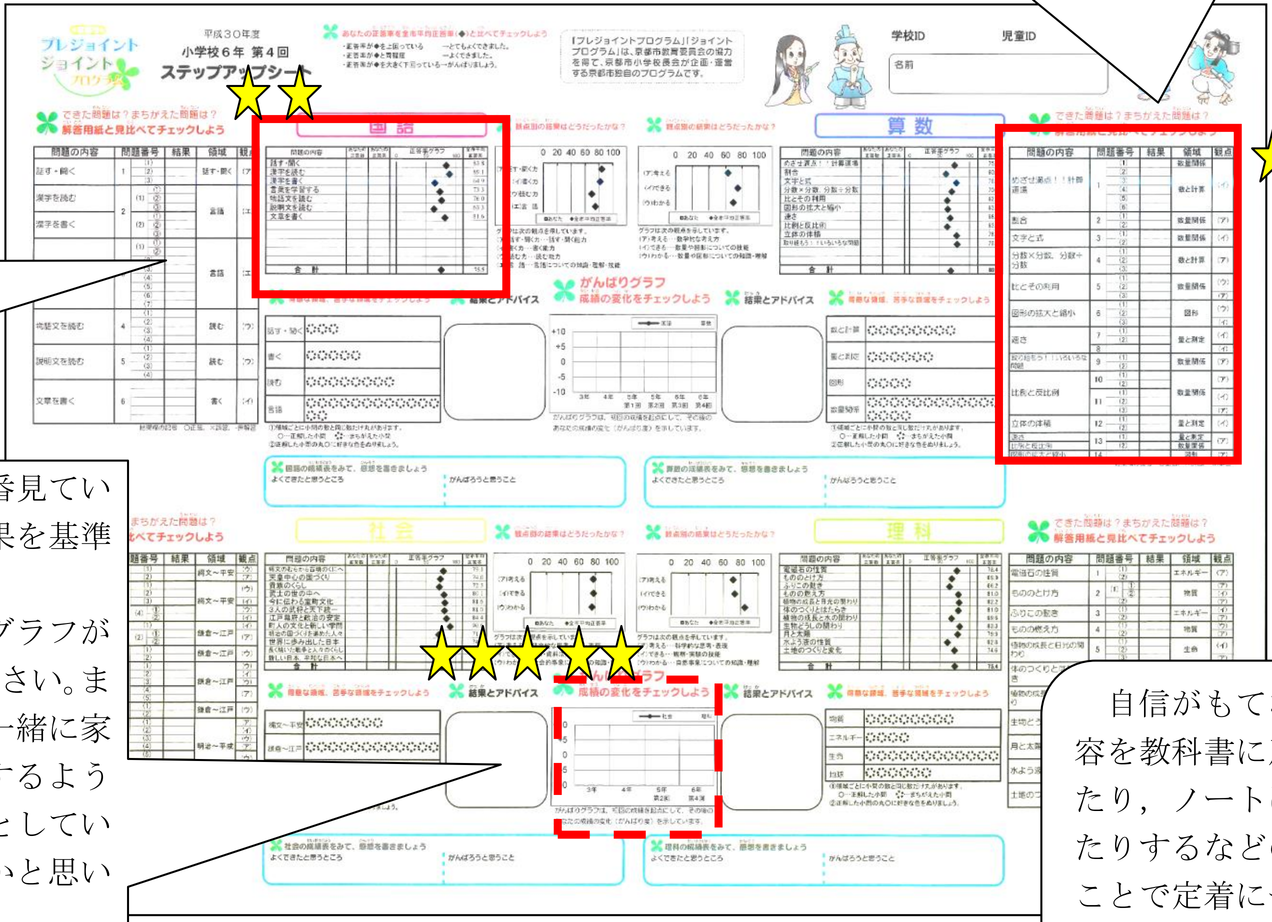
下の図で，保護者の方に注目していただきたい部分を☆で示しています。☆の数が多い部分から順にご覧ください。

問題の種類ごとに正解できたか否かが，○×の記号で示されています。×がついている箇所の内容にご注目いただき，家庭学習で取組んでいただくというのもよいのではないでしょうか。

例えば，今回の確認テストの返却と同時に持ち帰る「正解と考え方」という冊子を照らし合わせながら，間違えた問題をもう一度解くことも大変意味のある学習になります。

さらに，前までの学年の教科書や１・２学期に使っていた教科書を見ながら，どのような学習だったのかを再確認するというのも『力のつく学習』となります。

どの教科も今までの積み上げが大切となってきますので，「できていること」「少し頑張りが必要なこと」を確認していただき，さかのぼって学習することで次の学習へとつなげていくことができるのではないでしょうか。



国語科の問題の内容に対して，正答数と正答率が示されています。また，枠内の左端には京都市の該当学年の平均正答率が示されています。

お子達の合計点数や京都市の平均と比べることに目が行きがちですが，内容にもご注目いただき，漢字の読み書きや，文章の読解，文章を書くなど，どの内容に頑張りが必要かについてもご覧ください。

「がんばりグラフ」（上段にも記載）は保護者の方に一番見ていただきたいところです。３年生で受験した確認テストの結果を基準値としてテストの結果を折れ線グラフにて表しています。

今回の確認テストの結果を見るよりも，お子達の折れ線グラフが右に上がっていればお子達をしっかりと褒めてあげてください。また，前回よりも折れ線グラフが下がっていたら，お子達と一緒に家庭学習のルールを決めていただくなど家庭学習が習慣化するようなお声掛けをしてください。特に，国語科や算数科の苦手としているところを一緒にご覧いただけるとお子達の励みになるかと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

自信がもてない教科や内容を教科書に戻って復習したり，ノートにまとめ直したりするなどの表出をすることで定着につなげていきましょう！

美豆小 学びの道しるべ

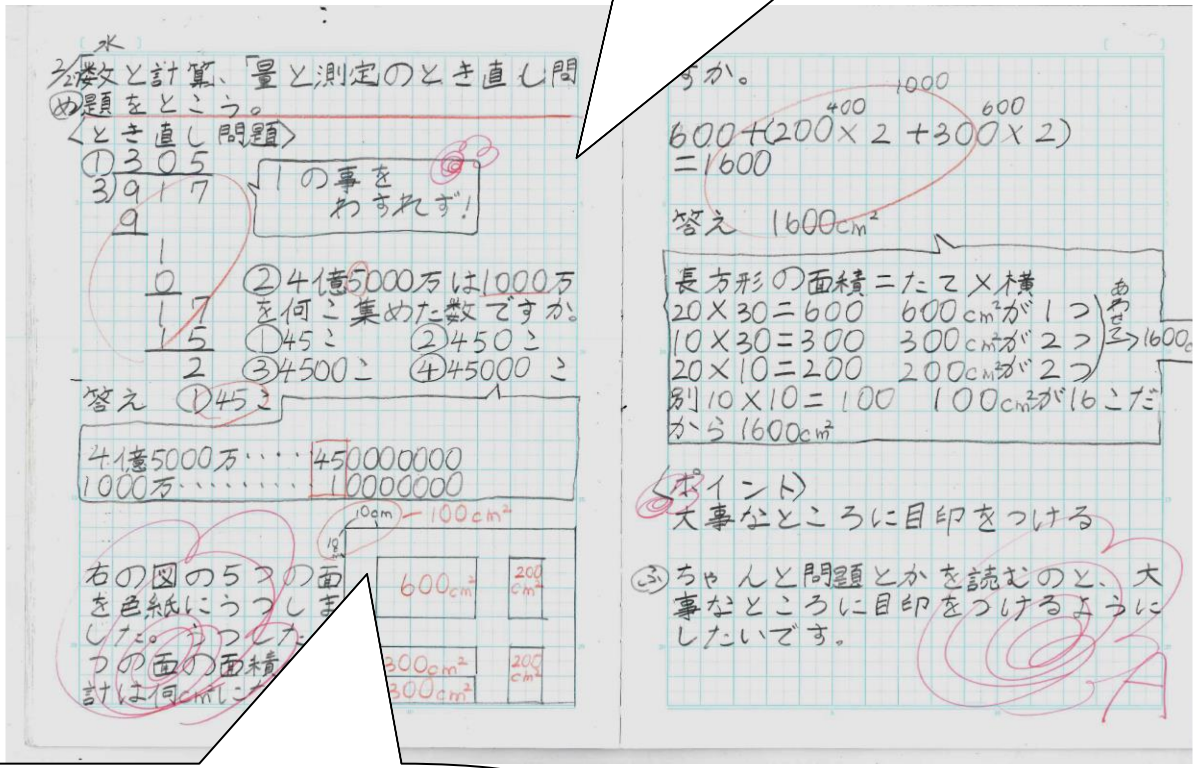
平成３１年３月４日
京都市立美豆小学校
校長　　　高嶋　登
１１号

ステップアップシートを活用した家庭学習

１月上旬に３年生以上の子どもたちが受験した「(プレ) ジョイントプログラム・確認テスト」の結果を２月２５日（月）に返却しました。その結果を受けて，確認テストの問題をもう一度解きなおしたり，教科書に立ち返って内容をまとめたりして，復習をしている子ども達の姿が多く見られました。

今回の「学びの道しるべ」では，ステップアップシートの返却後に子ども達が取り組んだ家庭学習を紹介させていただきます。春休みまであと３週間です。計画を立てて春休みに取組んでいただき，次の学年へのステップとなれば幸いです。

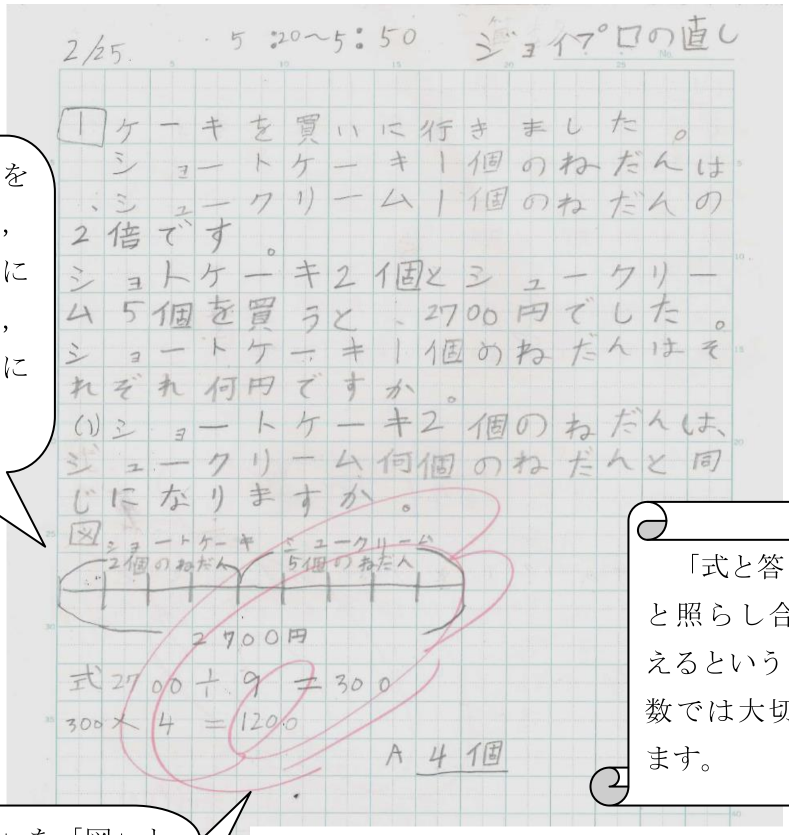
大切なポイントを吹き出しで書き記すことで，読み返したときに役立てることができます。



１０cm×１０cmが１００㎠だという，答えを求めていくために必要な過程を記すことができています。

【４年生児童の自主学習ノートより】

式と答えだけを書くのではなく，問題文をノートに書き写すことで，読み返したときに役立ちます。



「式と答え」を「図」と照らし合わせて考えるということを，算数では大切にしています。

「式と答え」を「図」と照らし合わせながら，答えを確かめることができています。

【５年生児童の自主学習ノートより】

教科書とノート

年度末になりました。今年度使っていた教科書やノートは，いつもどのようにされているでしょうか。

おすすめの使い方として，家庭学習に用いるという方法があります。教科書の問題をもう一度書き写して解いたり，教科書に直接書き込んだりする学習をすることで，復習につながりますね。1～３学期の計算ドリルも同様に家庭学習に使うことができます。

お子達の教科書やドリルを一度手に取っていただき，具体的なアドバイスをしていただけると意欲につながります。どうぞお声掛け下さい。

なお，来年度に４年生以上が受験する確認テストは夏休み明けに実施予定です。その確認テストには今の学年の３学期に学習した内容も含まれますので，お知りおきください。

美豆小 学びの道しるべ

平成３１年３月２２日
京都市立美豆小学校
校長　　　高嶋　登
１２号

春休みは準備期間です

新しい３学期制の下では，長期休業（夏休み・冬休み・春休み）は学習期間であると位置づけられています。学校を離れるものの学習が続いている期間として，特に次の学年に向けての準備期間であると捉えていただければと思います。

では，どのような家庭学習をすることが，次の学年に向けての準備となるのでしょうか。

低学年

・たし算やひき算・・・くり上がり算，くり下がり算
①計算カードを使って
②あまったノートにドリルや教科書の問題を写しての学習

・時　　　計・・・会話の中で「あと○分後」「○時間後」と言えるようにしましょう。
時計を見ながら「○時○分」とお話しましょう。

中学年

・計算ドリル（１・２・３学期）　　・漢字ドリル（１・２・３学期）

・算数　教科書「たしかめましょう」「練習」「もっと練習」

・読書３～４冊

高学年

・ジョイントプログラム等のこれまでの問題

・計算ドリル（文章問題，割合等自分の苦手なところ）

・漢字ドリル（書き取り）　　・算数の教科書の問題

学年ごとに内容が異なりますが，どれも次の学年のスタートを意識した内容になっています。今までの学習をベースに新しい学習が始まりますので，ご家庭でもお子達が進んで家庭学習に向かうことができるよう励ましの声かけやルールづくりなどを宜しくお願い致します。